

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業改善を!!

8月31日（火）に、全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。右に示しますとおり、本県は、小学校国語以外は、全国平均を下回る結果となりました（数値は平均正答数）。今後、児童生徒に対する教育の平等を確保するためにも、すべての先生方の共通認識、共通実践が望まれます。

	小国	小算	中国	中数
宮崎県	9.2	11.1	8.6	8.8
全国	9.1	11.2	9.0	9.1

中部教育事務所といたしましては、12月のみやざき学習状況調査に向けて、**自校の課題を明らかにして、共通理解を図り、授業改善につなげていってほしい**と願っております。別紙資料として、今回の学力分布、児童生徒質問紙より、「主体的・対話的で深い学び」に関する設問や、ICTに関する設問における回答状況をお示しいたしました。ぜひ各学校の状況を把握してみてください。本年度中部教育事務所は、以下の3つのポイントで授業改善を進めております。

ポイント1 「めあて」と「まとめ」の整合性

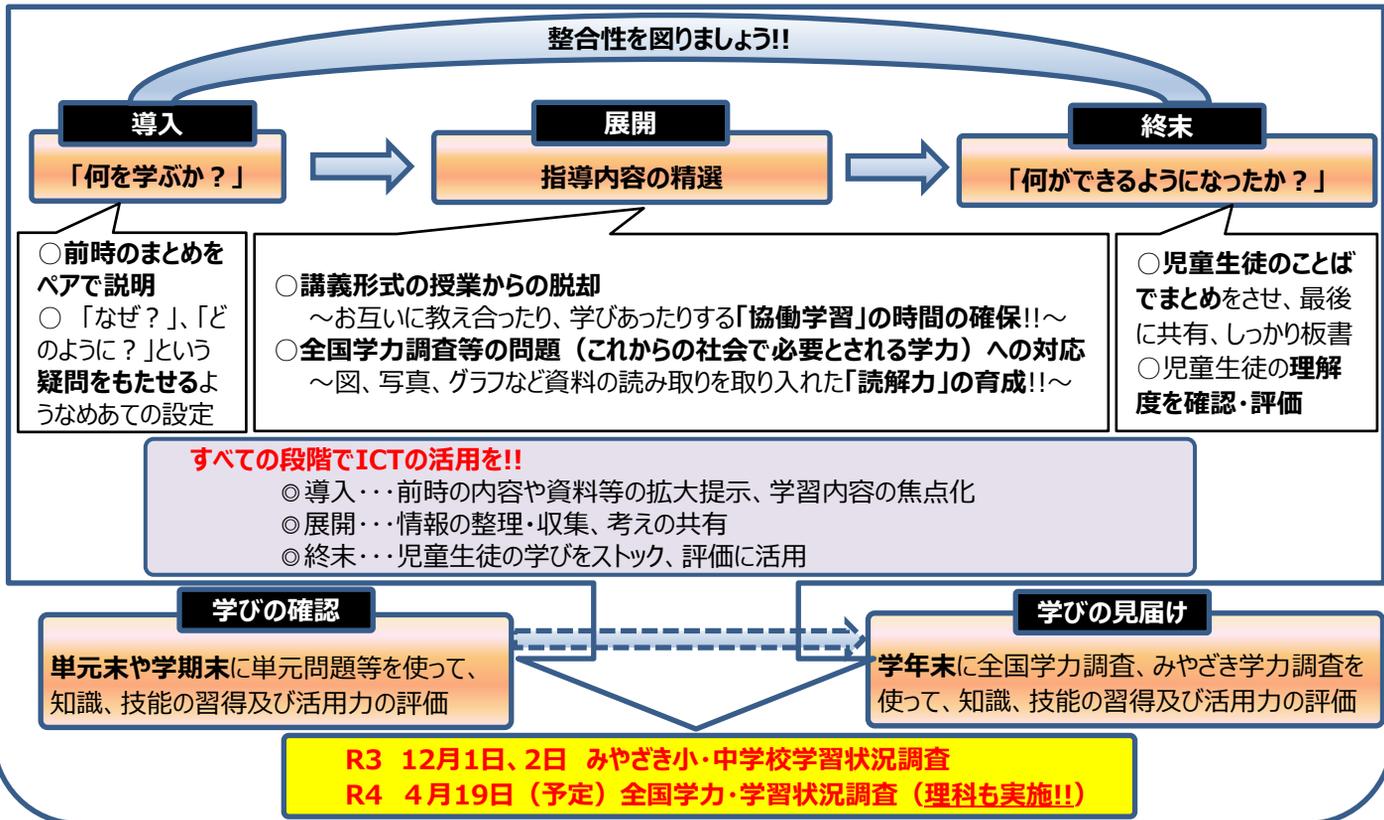
ポイント2 「指導内容の精選」

ポイント3 「学びの見届けや学びの確認」



今回の結果からも、授業改善に学校全体や学年全体で、組織的に取り組んでいる学校は、着実に成果が挙がっております。ぜひとも、校長先生、教頭先生を中心に、学校全体での取組をお願いします。

上記のポイント1～3を一単位の時間や今後の学習指導の中に落とし込むと以下のようなイメージとなります。



※ 7月12日実施の「学力向上プロジェクト」における宮崎市立本郷小学校 中西英指導教諭の動画は、中部教育事務所のホームページから閲覧できます。ほとんどの小学校で、夏季休業中に校内研修で活用していただきアンケートにも回答していただいております。中学校でも十分に参考となる内容ですので、ぜひ御活用ください。ID、PWについては7月号にて御確認ください。